



令和7年度 現地検討会等実施状況 (林道整備)





4	国有林	55
	都道府県	0
	市町村	0
	森林組合	0
	林業事業体（森林組合を除く）	0
	研究機関	0
	他省庁	0
	その他	0
	合計	55

55

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	特に効率的な施業を推進する森林の有無（国有林）	出席者	目的	内容	写真
旭川地区 林道技術支援プロジェクトチーム意見交換会	7月23日～ 7月24日	留萌北部森林管理署 留萌南部森林管理署 上川北部森林管理署 宗谷森林管理署 上川中部森林管理署 上川南部森林管理署 北空知支署	●上川中部署：雨粉林道 ●上川中部署：会議室	国有林	13名	改良工事で行われる一連の流れ、苦勞した点や事務処理等、技術的目標から意見交換し、若手職員を育成する。 改良工事現場を見学し、施工技術等を検証する。	林道改良工事の施工現場において、各工種での監督職員の対応等を踏まえた現場で注意する点や監督の中での失敗、それを踏まえた改善点等について意見交換し、参考となったとの意見が聞かれた。 また、経験の少ない担当者に向けて工事、業務の実務の流れのポイントを先輩職員の経験を踏まえて意見交換を行い、円滑な監督業務等に資する意見交換会となった。 地区的に広範なため移動に時間がかかる点を考慮しつつも様々な現場を見て経験値を積み重ねたいとの意見もあった。	 <p>既設へ接続コンクリート部分、水抜き箇所の検討</p>  <p>溝渠工月型かこの設置状況等について確認</p>
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				他省庁	名			
				その他	名			
				合計	13名			



令和7年度 現地検討会等実施状況

(林道整備)

<p>北見地区 林道技術支援プロジェクトチーム意見交換会</p>	<p>8月6日～7日</p>	<p>網走西部森林管理署 西紋別支署 網走中部森林管理署 網走南部森林管理署</p>	<p>●網走中部署：小屋の沢林道 ●北見事務所：会議室</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>13名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体（森林組合を除く）</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>13名</td></tr> </table>	国有林	13名	都道府県	名	市町村	名	森林組合	名	林業事業体（森林組合を除く）	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	13名	<p>ICTの活用による災害調査業務等の迅速化・省力化を推進するため、LiDAR機能付モバイル端末を使用した災害調査から図面作成までを試行する。</p>	<p>LiDAR機能付きモバイル端末を利用し現地で被災箇所の撮影を行い、撮影する範囲は災害起終点、河川の上下流など広範囲に撮影すること、草がある箇所は、計測が不十分となるため、事前の除草等が必要であることが周知された。撮影したデータから横断面を作成する実習を点群データを処理するソフトを使用した。</p> <p>【意見の一例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実習の中で、縦断線の抽出時に横断線が出力可能としても、等高線及び縦断の直角方向へ横断線を出力させるマニュアルが必要。</li> <li>●操作を習熟できるよう機会を多くしてほしい。</li> <li>●LiDAR機能付きモバイル端末による現地調査の留意点を含め点群データからソフト利用による図面化。</li> <li>●CADデータ化などの一連の操作に係るマニュアル整備が必要。</li> </ul>	 <p>被災箇所でLiDAR機能を用いた計測</p>  <p>撮影した画像各自のPCで横断面を作成</p>
国有林	13名																								
都道府県	名																								
市町村	名																								
森林組合	名																								
林業事業体（森林組合を除く）	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	13名																								
<p>札幌・函館地区 林道技術支援プロジェクトチーム意見交換会</p>	<p>8月26日～27日</p>	<p>石狩森林管理署 空知森林管理署 胆振東部森林管理署 日高北部森林管理署 日高南部森林管理署 後志森林管理署 桧山森林管理署 渡島森林管理署</p>	<p>●渡島森林管理署：ペンケルベシユベ林道 ●桧山森林管理署：大野中二股林道第一支線 ●函館事務所：会議室</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>15名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体（森林組合を除く）</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>他省庁</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>15名</td></tr> </table>	国有林	15名	都道府県	名	市町村	名	森林組合	名	林業事業体（森林組合を除く）	名	研究機関	名	他省庁	名	その他	名	合計	15名	<p>ICTの活用による災害調査業務等の迅速化・省力化を推進するため、LiDAR機能付モバイル端末を使用した災害調査から図面作成までを試行する。</p> <p>実際に被災している現地において、災害申請の模擬練習を体験する。また、改良工事現場を見学し、施工技術等を検証する。</p>	<p>橋梁塗装塗替工事施工後の箇所、段階確認の状況や安全対策について説明を受け、普段見られない工事の説明を受け参考になったという意見が多く出された。</p> <p>次に小規模の路肩決壊箇所LiDAR機能付きモバイル端末を利用した撮影の実習を行い、草があると撮影データに不備が生じるなどの注意点を理解し、LiDAR機能付きモバイル端末で撮影した3D写真を点群データを処理するソフトに取り込み縦断線に垂直な横断線を作成するまでを行った。説明を受けながら操作ができたのでより理解が深まったとの意見や次のステージへ進めるようさらに勉強会が必要との意見が出された。</p>	 <p>橋梁塗装塗替工事の見学</p>  <p>モバイル端末による撮影実習</p>
国有林	15名																								
都道府県	名																								
市町村	名																								
森林組合	名																								
林業事業体（森林組合を除く）	名																								
研究機関	名																								
他省庁	名																								
その他	名																								
合計	15名																								

令和7年度 現地検討会等実施状況

(林道整備)

帯広地区 林道技術支援プロジェクトチーム意見交換会	10月7日～8日	根釧西部森林管理署 根釧東部森林管理署 十勝東部森林管理署 十勝西部森林管理署 東大雪支署	●十勝西部署：トムラウシ沢林道 ●十勝西部署：会議室	国有林 14名	林道改良工事施工現場を見学し、施工技術等の検証と意見交換を行う。 ICTの活用による災害調査業務等の迅速化・省力化を推進するため、LiDAR機能付モバイル端末を使用した災害調査から図面作成までを試行する。	林道改良工事の施工現場において、実際の施工を見ていく中で、工事の目的を理解し施工方法を学ぶことにより監督職員としての対応を深めることができた。 また、LiDAR付き機能付モバイル端末を使用し、現地で被災箇所の撮影を行い、そのデータをもとに点群データ処理ソフトで計測作業の一連を編集、横断面の作成までを学んだことは実践的な機会として大変勉強となったという意見が多く出た。今まで難しそうなイメージもあり使用をためらっていたが、実際に操作方法を学ぶことで積極的に活用しようと機運が高まり、LiDAR機能付モバイル端末による現地調査を署等でも取り組みたいとの発言もあった。 今回は、林道担当の経験が浅い中で他署の担当者との交流ができ、今後、業務を進める過程で困った点はスムーズに意見を聞ける環境となり有意義な会となったこと、経験者から実際に現場で施工の注意点を学び自分の現場に生かして行ける内容となった。	 溝渠工の施工現場を見て議論する参加者   LiDAR機能付モバイルを使用した災害調査
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体 (森林組合を除く) 名			
				研究機関 名			
				他省庁 名			
				その他 名			
合計 14名							